

目次

特集

変容する捜査環境と警察の取組	1
特集に当たって	1
第1節 犯罪情勢と捜査上の課題	2
第1項 刑法犯の情勢	2
(1) 刑法犯の認知・検挙状況	2
(2) 刑法犯による被害状況	3
(3) 重要犯罪の認知・検挙状況	3
(4) 窃盗犯の認知・検挙状況	5
第2項 窃盗犯捜査が抱える課題	6
(1) 窃盗犯の余罪検挙状況の推移	6
(2) 窃盗犯の余罪検挙の端緒	7
(3) 窃盗犯の余罪検挙減少の要因	7
第3項 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の情勢と捜査上の課題	8
(1) 特殊詐欺の情勢	8
(2) 特殊詐欺事件捜査の課題	9
第4項 組織犯罪の捜査が抱える課題	10
(1) 暴力団犯罪捜査の課題	10
(2) 薬物犯罪捜査の課題	11
第5項 構造的な不正事案の情勢と捜査上の課題	12
(1) 政治・行政をめぐる不正事案	12
コラム1 インターネット等を利用した選挙運動の解禁	13
(2) 経済をめぐる不正事案	13
第2節 警察捜査を取り巻く環境の変容	14
第1項 社会情勢の変化	14
(1) 地域社会における人間関係の希薄化	14
(2) 犯罪の痕跡を残さないための手段として悪用される各種サービス	15
第2項 警察捜査をめぐる制度の変革	16
(1) 取調べをめぐる環境の変化	16
(2) 公判における客観証拠の重視に伴う業務の増加	19
(3) 公訴時効の廃止・延長に伴う捜査期間の長期化	19
第3項 急速に進む世代交代	20
(1) 急速に進む世代交代	20
(2) 捜査技能の伝承に関する課題	21
コラム2 第一線における捜査技能の伝承	21

第3節 警察の取組	22
第1項 社会情勢の変化を受けた取組	22
(1) 犯人の事後追跡可能性の確保	22
コラム3 防犯カメラ画像を活用した迅速かつ効率的な犯人追跡	23
コラム4 レンタル携帯電話の悪用への対策	25
コラム5 現金送付型被害への対策	26
(2) 情報分析の高度化・効率化	27
第2項 客観証拠の確保のための取組	28
(1) 初動捜査における客観証拠の収集	28
コラム6 夜間等における警察署の鑑識体制の整備	28
(2) 科学技術の活用	30
コラム7 高出力レーザー照射装置の導入	32
(3) 各種捜査手法の活用	33
第3項 捜査技能の組織的な伝承	34
(1) 新時代に対応した刑事捜査員の育成	34
コラム8 新任捜査員育成プログラム	34
コラム9 捜査指揮能力や取調べ技術の組織的伝承を図るための取組	34
(2) 取調べ技術の伝承と取調べの高度化	35
コラム10 取調べ技術総合研究・研修センターにおける取組	35
(3) 警察庁指定広域技能指導官制度	35
コラム11 見当たり捜査	35
第4節 諸外国の捜査手法等	36
第1項 通信傍受・会話傍受	37
(1) 通信傍受	37
(2) 会話傍受	37
第2項 仮装身分捜査	37
第3項 証人保護	37
第5節 今後の展望	38
第1項 警察捜査に関する国民の意識	38
(1) 国民の体感治安	38
(2) 警察捜査への協力	38
(3) 警察捜査への理解	39
(4) 取調べの録音・録画	39
第2項 今後の展望	40
(1) 社会情勢の変化への対応	40
(2) 捜査の在り方の変革への対応	40
(3) 新たな捜査手法の導入の検討	42
第3項 おわりに	43
警察活動の最前線	44

トピックス 45

トピックスⅠ 現行警察制度60年の回顧と展望..... 46

- (1) 警察制度の歩み 46
- (2) 今後の展開 47
- コラム 警察活動を支える装備の改善及び拡充 47

トピックスⅡ 女性の視点をいかした警察づくり 48

- (1) 女性警察官をめぐる現状 48
- (2) 女性の視点をいかした警察づくり 48
- コラム1 警察共済組合によるシッター派遣制度の開始 49
- コラム2 強く優しく頼れる警察であり続けるために 49

トピックスⅢ インターネットバンキングに係る不正送金事犯への対策 50

- (1) インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生状況 50
- (2) インターネットバンキングに係る不正送金事犯に対処するための取組 51

トピックスⅣ 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の撲滅のための取組 52

- (1) 交付形態の現状 52
- (2) 被害防止・回復を視野に入れた取締活動の推進 52
- コラム1 特殊詐欺被害防止のための口座凍結 52
- (3) 官民一体となった予防活動の推進 53
- コラム2 捜査の過程で入手した名簿を活用した被害防止 53
- コラム3 被害者を取り巻く様々な方面からの被害防止 53

トピックスⅤ 厳しい薬物情勢に対する警察の取組 54

- (1) 最近の薬物情勢の特徴 54
- (2) 政府における「第四次薬物乱用防止五か年戦略」の策定 55
- (3) 警察の取組 55

トピックスⅥ 「交通事故抑止に資する取締り・速度規制等の在り方に関する懇談会」について 56

- (1) 懇談会の開催 56
- (2) 懇談会における検討 56
- (3) 「交通事故抑止に資する取締り・速度規制等の在り方に関する提言」 56

警察活動の最前線 58

第1章

警察の組織と公安委員会制度 59

第1節 警察の組織 60

第1項 警察の組織 60

- (1) 公安委員会制度 60
- (2) 国の警察組織 60

(3) 都道府県の警察組織	61
---------------	----

第2節 公安委員会の活動 62

第1項 公安委員会の活動	62
--------------	----

(1) 国家公安委員会	62
-------------	----

(2) 都道府県公安委員会	63
---------------	----

(3) 苦情処理及び監察の指示	64
-----------------	----

(4) 公安委員会相互間の連絡	65
-----------------	----

公安委員の声 66

第2章

生活安全の確保 67

第1節 女性・子供を犯罪から守るための取組 68

第1項 恋愛感情等のもつれに起因する暴力的事案への対応	68
-----------------------------	----

(1) 現状	68
--------	----

(2) 対策	68
--------	----

コラム1 東京都三鷹市における殺人事件を踏まえた取組について	69
--------------------------------	----

コラム2 ストーカー行為等の規制等に関する法律の一部を改正する法律について	71
---------------------------------------	----

コラム3 ストーカー行為等の規制等の在り方に関する有識者検討会	71
---------------------------------	----

第2項 子供の安全を守るための取組	72
-------------------	----

(1) 子供を犯罪から守るための取組	72
--------------------	----

(2) 児童虐待対策	73
------------	----

(3) いじめ事案への対応	74
---------------	----

コラム4 いじめ防止対策推進法・いじめ防止基本方針	75
---------------------------	----

(4) 少年の福祉を害する犯罪への対策と有害環境対策	75
----------------------------	----

コラム5 サイバー補導の実施	76
----------------	----

(5) 少年の犯罪被害への対応	77
-----------------	----

第2節 国民の生活を犯罪から守るための取組 78

第1項 国民の財産を狙う事犯への対策	78
--------------------	----

(1) ひったくり対策	78
-------------	----

(2) 万引き対策	78
-----------	----

(3) 侵入窃盗対策	79
------------	----

(4) 侵入強盗対策	79
------------	----

(5) 自動車盗対策	80
------------	----

コラム6 地域の実情に応じた自動車盗対策	80
----------------------	----

コラム7 電子manifestoを活用した盗難自動車の不正輸出の阻止	80
------------------------------------	----

(6) 悪質商法対策	81
------------	----

(7) ヤミ金融事犯対策	82
--------------	----

コラム8 ヤミ金融事犯等に悪用されるレンタル携帯電話サービスの悪用実態等	83
--------------------------------------	----

(8) 知的財産権侵害事犯対策	83
-----------------	----

第2項	国民の健康を害する事犯への対策	84
(1)	食の安全に係る事犯対策	84
(2)	保健衛生事犯対策	84
第3項	良好な生活環境の保持	85
(1)	風俗営業等の状況	85
(2)	売春事犯及び風俗関係事犯の現状	85
(3)	人身取引事犯対策	86
(4)	銃砲刀剣類の適正管理と危険物対策	87
(5)	環境事犯対策	87
(6)	探偵業に係る業務の運営の適正化	87
第3節	地域住民の安全・安心確保のための取組	88
第1項	相談業務の充実強化	88
(1)	相談取扱いの現状	88
(2)	相談受理体制	88
(3)	相談内容に応じた適切な対応の推進	89
第2項	事件・事故への即応	90
(1)	110番通報	90
(2)	通信指令	90
(3)	初動警察活動の強化	92
(4)	鉄道警察隊の活動	92
(5)	パトカー及び警察用船舶の活用	92
(6)	警察用航空機の活用	93
	コラム9 山岳遭難に対する警察活動	93
第3項	交番・駐在所の活動	94
(1)	パトロール、立番等	94
(2)	地域住民と連携した活動	95
(3)	遺失物の取扱い	95
第4節	将来にわたる犯罪抑止のための基盤の構築に向けた取組	96
第1項	犯罪抑止に向けた取組	96
(1)	地域社会との協働	96
	コラム10 地域社会が一体となった安全・安心なまちづくり	98
(2)	犯罪防止に配慮した環境設計	98
(3)	地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策	99
第2項	生活安全産業の育成と活用	100
(1)	警備業の育成	100
(2)	古物商・質屋を通じた盗品等の流通防止と被害回復	100
	コラム11 古物商の関係団体における取組	100
(3)	防犯設備関連業界との連携	100
第3項	少年非行防止に向けた取組	101
(1)	少年非行の現状	101

(2) 非行少年を生まない社会づくり	102
(3) 学校その他関係機関との連携確保	103
(4) 少年警察ボランティアとの連携	103
(5) 少年事件対策	103

警察活動の最前線	104
----------	-----

第3章

サイバー空間の安全の確保	105
--------------	-----

第1節 サイバー空間の脅威	106
---------------	-----

第1項 サイバー犯罪の情勢	106
---------------	-----

(1) サイバー犯罪の検挙状況	106
-----------------	-----

第2項 サイバー攻撃の情勢	108
---------------	-----

(1) サイバーテロの情勢	108
---------------	-----

(2) サイバーインテリジェンスの情勢	108
---------------------	-----

コラム1 サイバー空間の安全・安心に関する国民の意識	109
----------------------------	-----

第2節 サイバー空間の脅威への対処	110
-------------------	-----

第1項 総合的なサイバーセキュリティ対策の強化	110
-------------------------	-----

(1) サイバーセキュリティ対策の司令塔機能の強化	110
---------------------------	-----

(2) サイバーセキュリティ研究・研修センターの設置	110
----------------------------	-----

第2項 サイバー犯罪への対策	111
----------------	-----

(1) コンピュータ・ウイルス対策	111
-------------------	-----

(2) 不正アクセス対策	111
--------------	-----

コラム2 連続自動入力プログラムによる不正ログイン攻撃	111
-----------------------------	-----

(3) インターネット上の違法情報・有害情報対策	112
--------------------------	-----

(4) コミュニティサイト等に起因する事犯への対策	113
---------------------------	-----

(5) サイバー防犯ボランティアに対する支援	113
------------------------	-----

第3項 サイバー攻撃への対策	114
----------------	-----

(1) 体制の強化	114
-----------	-----

(2) 実態解明の推進	114
-------------	-----

(3) 技術的基盤の整備	115
--------------	-----

コラム3 平成25年中のインターネット観測結果	115
-------------------------	-----

第4項 技術支援と解析能力の向上	116
------------------	-----

(1) 犯罪の取締りへの技術支援	116
------------------	-----

(2) 対応力強化に向けた取組	116
-----------------	-----

第5項 国際的なサイバー犯罪捜査協力の推進	117
-----------------------	-----

(1) 国際捜査共助	117
------------	-----

(2) 国際会議・協議等	117
--------------	-----

第3節 サイバー空間の脅威に対する官民の連携の推進	118
---------------------------	-----

第1項 サイバー空間の脅威に対する官民の連携の推進	118
---------------------------	-----

(1) 日本版NCF TAの創設に向けた検討	118
(2) 官民の連携のための枠組み	118
(3) 民間事業者と連携した対策	119
警察活動の最前線	120

第4章

組織犯罪対策 121

第1節 暴力団対策 122

第1項 暴力団情勢	122
(1) 暴力団構成員及び準構成員等の推移	122
(2) 暴力団の解散・壊滅	123
(3) 暴力団の指定	123
コラム1 準暴力団に関する実態解明及び取締りの強化等	123
第2項 暴力団犯罪の取締り	124
(1) 検挙状況	124
(2) 暴力団等によるとみられる事業者襲撃等事件及び対立抗争事件等	125
コラム2 九州北部の暴力団情勢	125
(3) 資金獲得犯罪	126
コラム3 山口組・弘道会対策	126
第3項 暴力団対策法の運用	127
第4項 暴力団排除活動の推進	128
(1) 国及び地方公共団体における暴力団排除活動	128
(2) 各種事業・取引等からの暴力団排除	128
コラム4 東日本大震災の復旧・復興事業からの暴力団排除等の取組	128
(3) 地域住民等による暴力団排除活動	129
(4) 地方公共団体における暴力団排除に関する条例の制定・施行	129
コラム5 暴力団構成員の社会復帰対策の推進	129

第2節 薬物銃器対策 130

第1項 薬物情勢	130
(1) 各種薬物事犯の状況	130
(2) 薬物密輸入事犯の状況	131
(3) 薬物犯罪組織の動向	131
第2項 薬物対策	132
(1) 供給の遮断	132
(2) 需要の根絶	132
コラム6 匿名通報ダイヤルの運用	132
第3項 銃器情勢とその対策	133
(1) 銃器情勢	133
(2) 銃器対策	133

第3節	来日外国人犯罪対策	134
第1項	来日外国人犯罪の情勢	134
(1)	全般的傾向	134
(2)	国籍・地域別検挙状況	134
第2項	国際犯罪組織の動向	135
(1)	来日外国人犯罪の組織化の状況	135
(2)	国際犯罪組織の特徴	135
(3)	国際犯罪組織に利用される犯罪インフラの実態	136
	コラム7 ヤード対策	136
第3項	国際組織犯罪に対処するための取組	137
(1)	国内関係機関との連携	137
(2)	外国捜査機関等との連携	137
(3)	国外逃亡被疑者等の追跡	137
第4節	犯罪収益対策	138
第1項	犯罪収益移転防止法に基づく活動	138
(1)	犯罪収益移転防止法の適切な履行を確保するための措置	138
(2)	疑わしい取引の届出	138
第2項	マネー・ローンダリング事犯の検挙状況	139
第3項	犯罪収益の剥奪	140
(1)	没収・追徴の状況	140
(2)	起訴前の没収保全	140
第4項	国際連携	141
(1)	F A T Fの活動と警察庁の参画状況	141
(2)	A P Gの活動と警察庁の参画状況	141
(3)	エグмонт・グループの活動と警察庁の参画状況	141
(4)	外国のF I Uとの情報交換	141
	警察活動の最前線	142

第5章 安全かつ快適な交通の確保 143

第1節	平成25年の交通事故情勢	144
第1項	交通事故の発生状況	144
(1)	概況	144
(2)	交通死亡事故の発生状況	144
第2項	交通事故死者数の減少幅が縮小している背景	145
(1)	高齢者の人口の増加	145
(2)	エアバッグ装着率、シートベルト着用率等の頭打ち	145
(3)	飲酒運転による交通事故件数の下げ止まり	145
第2節	交通安全意識の醸成	146

第1項	飲酒運転の根絶に向けた警察の取組	146
(1)	「飲酒運転を許さない社会環境づくり」の取組	146
(2)	飲酒運転根絶の受け皿としての運転代行サービスの普及促進	146
(3)	飲酒運転の取締り	146
第2項	交通安全教育と交通安全活動	147
(1)	交通安全教育	147
(2)	交通安全活動	147
(3)	高齢者の交通安全に向けた取組	148
(4)	子供の交通安全に向けた取組	148
第3項	自転車の安全利用の促進	149
(1)	自転車に関連する交通事故の状況	149
(2)	良好な自転車交通秩序の実現のための対策	149
第3節	安全運転の確保	150
第1項	運転者教育	150
(1)	運転者教育の体系	150
(2)	運転免許を受けようとする者に対する教育の充実	150
(3)	運転免許取得後の教育の充実	151
第2項	運転者に対する取組	152
(1)	運転者の危険性に応じた行政処分の実施	152
(2)	運転適性相談の充実	152
(3)	運転免許手続等の利便性の向上と国民負担の軽減	152
(4)	国際化への対応	152
(5)	高齢運転者対策の充実	153
第4節	交通環境の整備	154
第1項	安全・安心な交通環境の整備	154
(1)	交通安全施設等整備事業の推進	154
	コラム1 災害に備えた道路交通環境の整備	154
(2)	交通管制システムの整備	155
(3)	警察による交通情報提供	156
(4)	効果的な交通規制等の推進	156
	コラム2 環状交差点に関する交通方法	157
(5)	交通管理等による環境対策	157
第2項	道路交通環境の整備による歩行者等の安全通行の確保	158
(1)	ゾーン30の推進	158
(2)	バリアフリー対応型信号機の整備の推進	158
第3項	道路交通のIT化	159
(1)	ITS（高度道路交通システム）	159
(2)	ITSに関する国際協力の推進	159
第4項	駐車対策	160
(1)	違法駐車の状態	160

(2) 駐車対策の推進	160
第5項 高速道路における交通警察活動	161
(1) 高速道路ネットワークと交通事故の現状	161
(2) 高速道路における交通の安全と円滑の確保	161
第5節 道路交通秩序の維持	162
第1項 交通指導取締り	162
(1) 悪質性・危険性・迷惑性の高い運転行為への対策	162
(2) 使用者等の責任追及等	162
第2項 暴走族対策	163
(1) 暴走族等の実態と動向	163
(2) 暴走族の取締り及び関係機関と連携した対策	163
第3項 交通事故事件捜査	164
(1) 交通事故事件の検挙状況	164
(2) 適正かつ緻密な交通事故事件捜査	164
(3) 交通事故事件捜査の科学化・合理化	165
(4) 交通事故被害者等の支援	165
警察活動の最前線	166

第6章

公安の維持と災害対策 167

第1節 国際テロ情勢と対策	168
第1項 国際テロ情勢	168
(1) イスラム過激派等	168
(2) 我が国に対するテロの脅威	168
(3) 日本赤軍と「よど号」グループ	169
(4) 北朝鮮	170
第2項 国際テロ対策	172
(1) テロの未然防止対策の推進	172
(2) テロへの対処体制の強化	173
コラム1 TRT-2の充実強化	174
コラム2 原子力関連施設におけるテロ対策	175
第2節 外事情勢と対策	176
第1項 対日有害活動の動向と対策	176
(1) 北朝鮮の動向	176
(2) 中国の動向	177
(3) ロシアの動向	178
第2項 大量破壊兵器関連物資等の不正輸出等の取締り	179
(1) 大量破壊兵器関連物資等の不拡散についての国際的な取組	179
(2) 大量破壊兵器関連物資等の不正輸出に対する取締り	179

(3) 対北朝鮮措置に係る違法行為の取締り	179
第3節 公安情勢と対策	180
第1項 オウム真理教の動向と対策	180
(1) オウム真理教の動向	180
(2) オウム真理教対策の推進	180
第2項 極左暴力集団の動向と対策	181
(1) 極左暴力集団の動向	181
(2) 極左暴力集団対策の推進	181
第3項 右翼の動向と対策	182
(1) 右翼の動向	182
(2) 右翼対策の推進	183
コラム3 右派系市民グループの動向	183
第4項 日本共産党等の動向	184
(1) 日本共産党の動向	184
(2) 日本民主青年同盟の動向	184
第5項 大衆運動の動向	185
(1) 原子力政策をめぐる動向	185
(2) 反戦・反基地運動	185
(3) 特定秘密の保護に関する法律をめぐる運動	185
(4) 国際会議等を捉えた反グローバリズム等の社会運動	185
(5) 我が国の捕鯨を取り巻く国内外の動向	185
(6) 雇用問題を捉えた運動	185
第4節 災害等への対処と警備実施	186
第1項 自然災害等への対処	186
(1) 自然災害の発生状況と警察活動	186
(2) 東日本大震災への対応	187
(3) 次なる大規模災害への備え	187
第2項 警備実施	188
(1) 警衛・警護警備	188
(2) 機動隊の活動	189
(3) 雑踏警備	189
コラム4 雑踏警備における効果的な現場広報活動	189
警察活動の最前線	190

第7章

警察活動の支え 191

第1節 警察活動の基盤 192

第1項 警察の体制	192
(1) 定員	192

(2) 警察力強化のための取組	192
(3) 教育訓練	193
コラム1 伝承教育～若手警察職員の早期戦力化～	194
(4) 警察官の殉職・受傷	194
第2項 警察の予算と装備	195
(1) 警察の予算	195
(2) 警察の装備	195
第3項 警察の情報通信	196
(1) 警察活動を支える警察情報通信	196
コラム2 様々な現場で活躍する機動警察通信隊	197
(2) 警察情報管理システム	197
(3) 情報管理の徹底	197
第4項 留置施設の管理運営	198
(1) 留置施設の管理運営	198
(2) 被留置者の収容状況	199
第5項 管区警察局・皇宮警察本部の活動	200
(1) 管区警察局の活動	200
(2) 皇宮警察本部の活動	201
コラム3 旧枢密院庁舎の皇宮警察本部庁舎としての再使用	201
第6項 研究機関の活動	202
(1) 警察政策研究センター	202
(2) 警察情報通信研究センター	203
(3) 科学警察研究所	203
第2節 国民の期待と信頼に応える強い警察	204
第1項 国民の期待と信頼に応える強い警察の確立に向けた取組	204
(1) 国民の期待と信頼に応えるために	204
(2) 適正な予算執行の確保	205
第2項 国民に開かれた警察活動	206
(1) 警察署協議会	206
(2) 情報公開制度	207
(3) 個人情報保護	207
(4) 政策評価	207
第3節 犯罪被害者支援	208
第1項 犯罪被害者支援	208
(1) 基本施策	208
(2) 被害者支援連絡協議会の活動	208
(3) 民間の被害者支援団体との連携	208
(4) 被害者の特性に応じた施策	209
(5) 犯罪被害給付制度	209

第4節	犯罪対策閣僚会議の取組と外国治安機関等との連携	210
第1項	犯罪対策閣僚会議の取組	210
	(1) 犯罪対策閣僚会議の開催	210
	(2) 「[世界一安全な日本] 創造戦略」の策定	210
第2項	国際社会における日本警察の活動	211
	(1) 国際的な犯罪に対する外国治安機関等との連携	211
	(2) 治安に関する国際約束の締結	212
	(3) 国際協力の展開	212
	警察活動の最前線	214

資料編	215	
1	平成25年中の組織改正と法令の制定	216
2	平成25年中の主な出来事	217
3	平成25年都道府県別統計資料	220

